

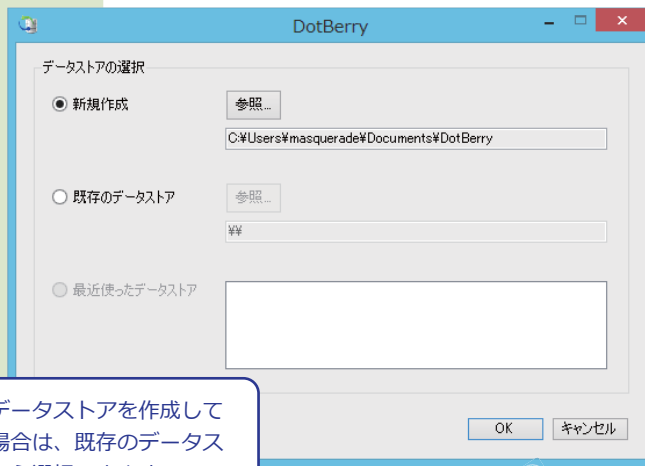


# DotBerry

DotBerry (ドットベリー) はデータ管理ソフトウェアです。データ項目が簡単に設計でき、入力チェック機能付のフォームとして自動生成されます。データ項目のほかに、関連するファイル、メモ、という3つの情報を1つの画面で管理できるのが特徴です。ネットワーク環境に対応し、複数のユーザー様が同期しながら操作することも可能です。データが汎用的なXML形式であるため、他のシステムで使用するデータを管理するなど、アイデア次第で様々な用途にご利用いただけます。

動作環境 Windows® XP, Vista, 7, 8, 8.1, 10 32bit/64bit  
.NET Framework 4.0

① 初めて起動するとこのような画面となります。



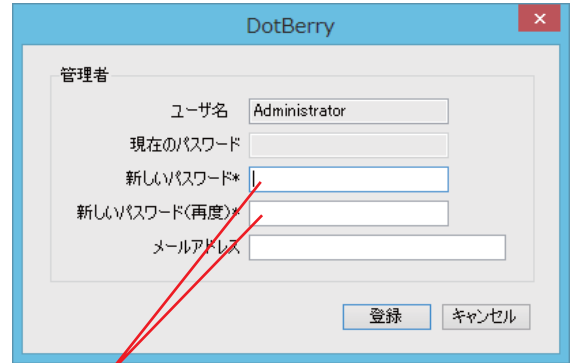
既にデータストアを作成してある場合は、既存のデータストアから選択できます。

そのまま [ OK ] を Click

1

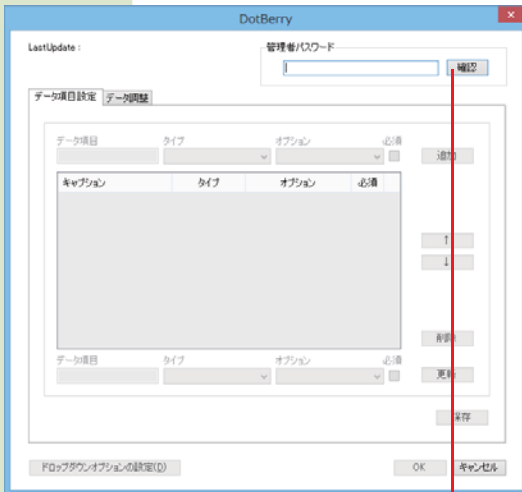
スグわかる  
初期設定

② 管理者用パスワードの入力画面になります。



パスワードを2回入力して [ 登録 ] を Click

※ メールアドレスは必須ではありません。

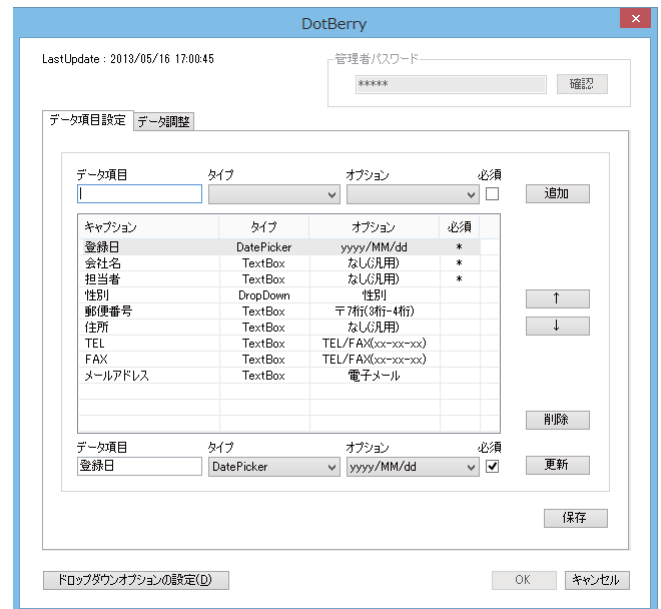


③ データ項目の初期設定画面になります。

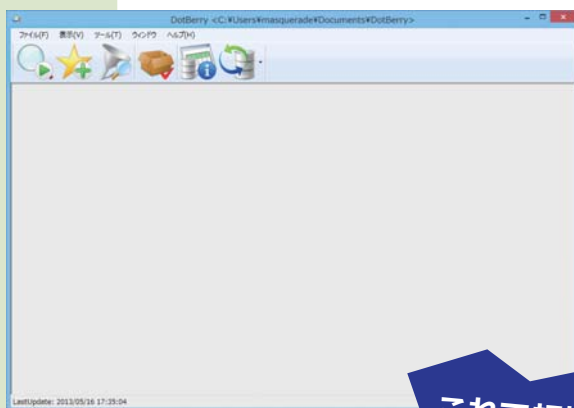
設定した管理者用パスワードを入力して [ 確認 ] を Click

④ データ項目やタイプ、オプションや必須項目にするかなどを決定します。

項目を追加したら [ 保存 ] を Click さらに [ OK ] を Click  
ここで設定せず後で設定する場合は [ キャンセル ] を Click



⑤ メイン画面が表示されました。v(^\_ ^)



これで初期設定は完了です (^\_^) v

2

# だいたいわかる 基本的な使い方

直前の検索結果を再度表示します。


資料やマニュアルなど、データストアに共通するデータを保存する場合に適した領域です。

データストア情報を表示します。

追加ボタンで、データを追加します。

検索ボタンでは、入力されたデータを検索できます。

データストアが2つ以上ある場合、データストアの切替ができます。新規に作成することもできます。



リストをダブル Click するか [ Enter ] キーを押すと、詳細画面が表示されます。(データを追加した直後にも表示されます)



データの編集、ファイルの追加・削除、備考などが記録できます。

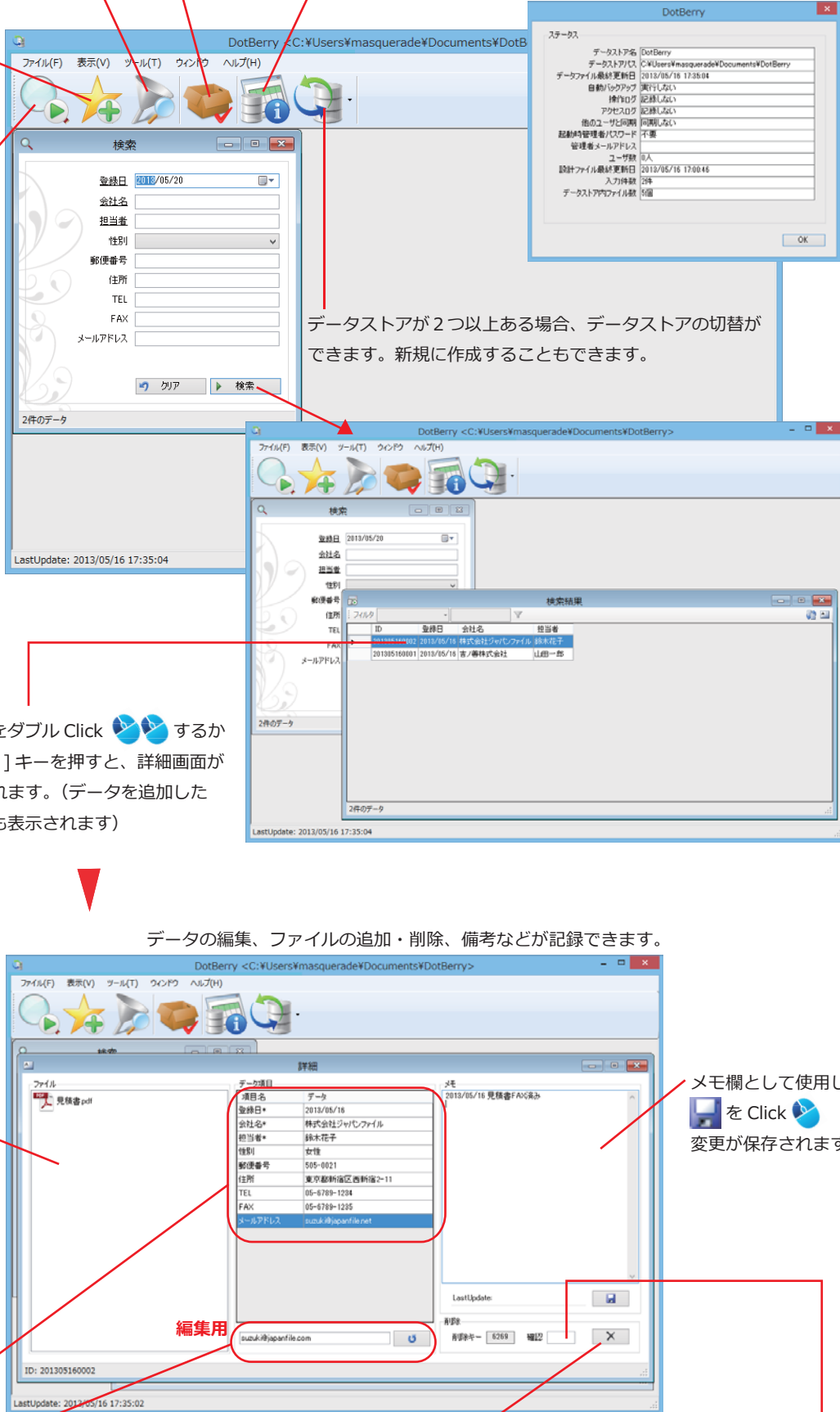
ファイルやフォルダをここにドロップすると、関連する情報として、保存できます。

メモ欄として使用します。 を Click  変更が保存されます。

編集用

項目を選択すると、このゾーンに編集用の部品が表示されます。編集後  ボタンを Click  で更新されます。  
※ 項目は右クリックして表示されたメニューからコピーができます。

データを削除する場合は、左側に表示されている [ 削除キー ] を入力し、 を Click  ファイルや備考欄も同時に削除されます。





3

じわじわわかる、  
データストア

### 📁 データストアについて

データストアは DotBerry 用語で、データの保管場所です。

DotBerry では、データはすべてここに入っています。

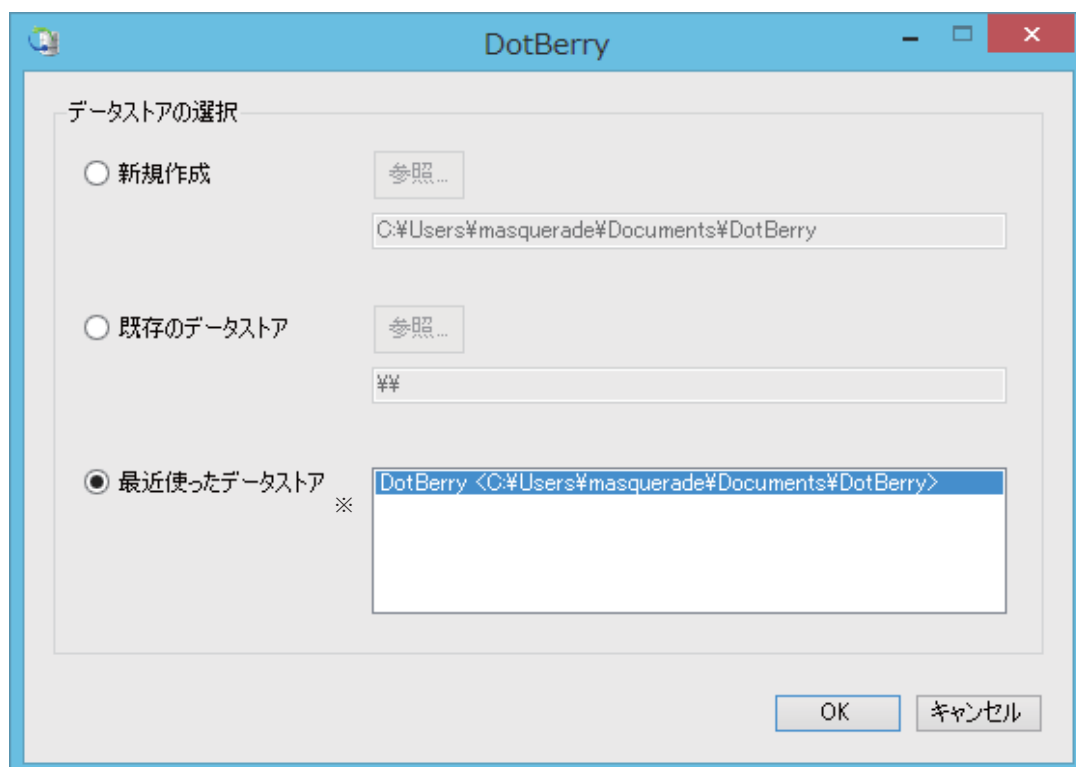
参照先はネットワーク上の共有ディスクや USB メモリも選択できます。

複数のデータストアを切替ながら使用することができます。

### 📁 データストアの中身


Administrator.berry	管理者設定が保存されます。
User.berry	ユーザー設定が保存されます (マルチユーザ設定時)
Controls.berry	データ項目の設計情報が入っています。
DataCenter.xml	入力されたデータが XML 形式で保存されます。 <pre>&lt;?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes"?&gt; &lt;Root&gt;   &lt;Data ID="201305160002"&gt;     &lt;登録日&gt;2013/05/16&lt;/登録日&gt;     &lt;会社名&gt;株式会社ジャパンファイル&lt;/会社名&gt;     &lt;担当者&gt;鈴木花子&lt;/担当者&gt;     &lt;性別&gt;女性&lt;/性別&gt;     &lt;郵便番号&gt;505-0021&lt;/郵便番号&gt;     &lt;住所&gt;東京都新宿区西新宿 2-11&lt;/住所&gt;     &lt;TEL&gt;05-6789-1234&lt;/TEL&gt;     &lt;FAX&gt;05-6789-1235&lt;/FAX&gt;     &lt;メールアドレス&gt;suzuki@japanfile.net&lt;/メールアドレス&gt;   &lt;/Data&gt; &lt;/Root&gt;</pre>
[ files ]	ドラッグ&ドロップによって保存されたファイルが格納されます。
[ notes ]	備考欄のテキスト情報が格納されます。
[ common ]	共通ファイルとしてドラッグ&ドロップされたデータが格納されます。
[ logs ]	操作ログファイルやエラー情報が格納されます。

🔊 ファイルはすべてこの中に入っています。  
ハードウェアのリプレース時も移行が簡単です!



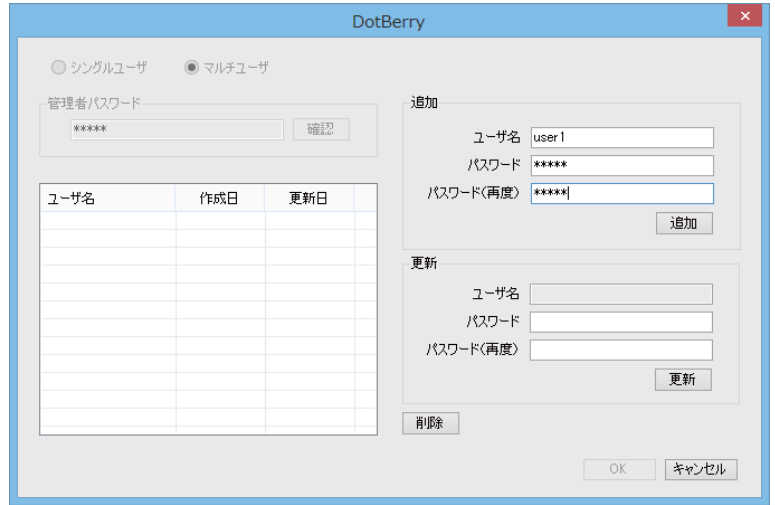
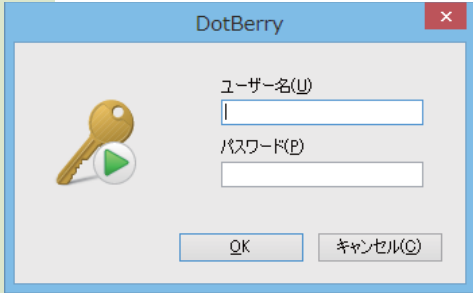
※ 最近使ったデータストアは、5つまでの履歴が記憶されます。

※ データストア (フォルダ) が移動・削除されていた場合、履歴からは削除されます。

 マルチユーザについて

マルチユーザとして 1 人以上のユーザを設定すると、User.berry ファイルがデータストア内に作成されます。共有ディスクにデータストアを置き、複数人で共有する際に不意なデータ閲覧を防ぐのが目的です。

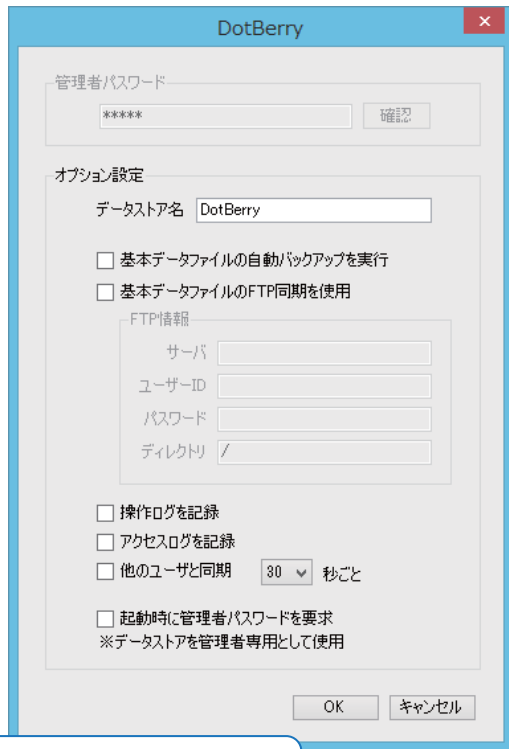
DotBerry 起動時に、データストア内の User.berry の存在をチェックします。存在していれば、ログインダイアログが表示されます。



マルチユーザを設定したら、下記のオプション設定の変更もお勧めします。


オプション設定

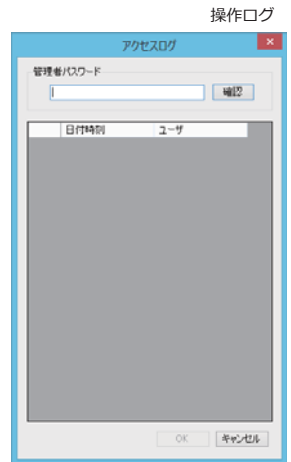
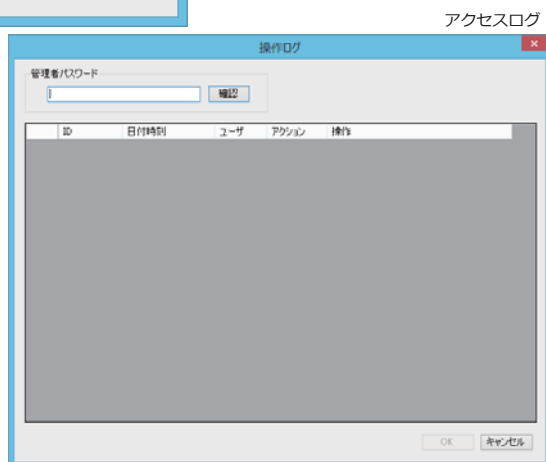
※ データストアごとに異なるアプリケーション設定ができます。



- データストア名  
変更するとタイトルバーの表示名などが変更されます。
- 基本データファイルの自動バックアップを実行  
基本データファイル (DataCenter.xml) をバックアップします。マルチユーザ環境でのデータ更新時に有効です。
- 基本データファイルの FTP 同期を使用  
基本データファイルを FTP サーバにアップロードします。チェックすると FTP 情報が入力できるようになります。また、メイン画面上にアップロードボタンが表示されます。
- 操作ログを記録  
各ユーザごとの操作ログを記録します。可能なものは、変更前 -> 変更後として記録します。
- アクセスログを記録  
各ユーザごとのアクセスログを記録します。記録した情報は管理者のみが閲覧することができます。
- 他のユーザとの同期  
マルチユーザ環境での同期秒数を指定します。ここで指定されたタイミングで再読み込みされます。
- 起動時に管理者パスワードを要求  
マルチユーザにしない場合でも覗かれたくない場合に使用します。チェックすると起動時に管理者パスワードを要求されます。



 最後に読み込まれた基本データファイルの日時は、メイン画面のステータスバーの LastUpdate に表示されます。



アクセスログ

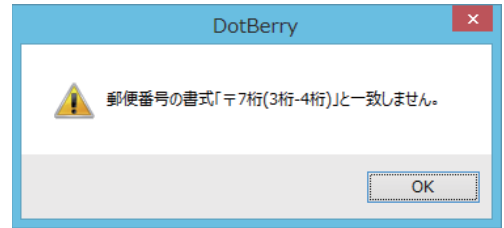
操作ログ

# 5

## 追加と検索、基本操作

### 追加処理例

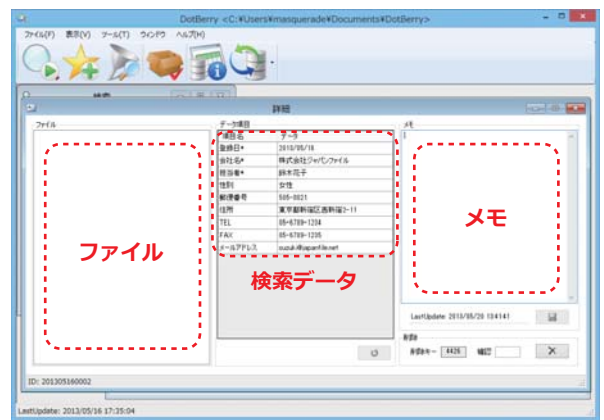
たとえば、データ項目を設計する際に、TextBox を選択し、オプションで「〒7桁 (3桁-4桁)」を選択した場合、追加用のフォームでは、自動的に入力チェックを行います。



DotBerry では入力制限がフォームに反映されます。この機能により入力の不統一を防ぐことができます。

入力制限をクリアし、データが追加されると、自動的に詳細画面になります。

検索データ・ファイル・メモという3つの情報形式が、1画面で管理できるというのが DotBerry のポイントです。打ち合わせに使用したファイルを日報的に保管したり、関連する電話番号や担当者名などはメモ欄に、といった使い方ができます。

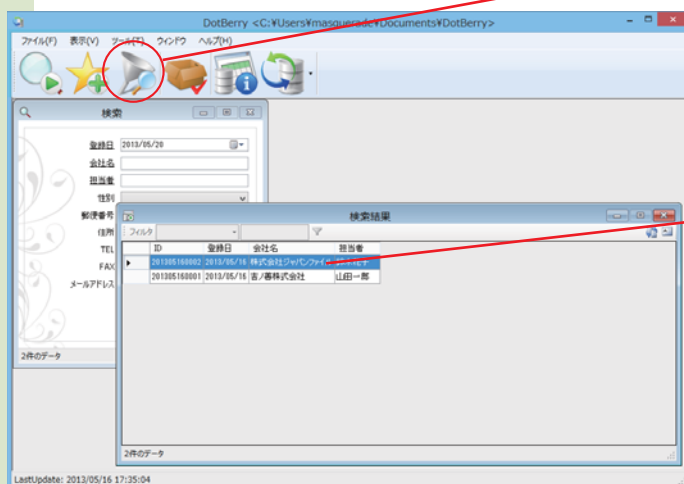


DatePicker は、当日を除く日付であれば検索できます。

何も指定しないまま [ 検索 ] を Click すると、すべてのデータが表示されます。

★ [ 次へ ] を Click すると、連続してデータを入力できます。

### 検索結果画面



[ 検索リスト ] を Click しても、最後に表示した検索結果が表示されます。

フィルタ機能で検索結果の絞り込みができます。右 Click で編集メニューが呼び出せます。ダブル Click で詳細画面になります。その他、右上のアイコンでも編集・詳細画面が出ます。データ項目設計時に、必須とした項目が表示されます。

それぞれを選択して [ 追加 ] を Click

DotBerry

LastUpdate : 2013/05/16 17:00:45

管理者パスワード  
\*\*\*\*\* 確認

データ項目設定 データ調整

データ項目	タイプ	オプション	必須
パスワード	TextBox	半角英数	<input type="checkbox"/>
キャプション			
登録日	DatePicker	yyyy/MM/dd	*
会社名	TextBox	なし(汎用)	*
担当者	TextBox	なし(汎用)	*
性別	Drop Down	性別	
郵便番号	TextBox	〒7桁(3桁-4桁)	
住所	TextBox	なし(汎用)	
TEL	TextBox	TEL/FAX(xx-xx-xx)	
FAX	TextBox	TEL/FAX(xx-xx-xx)	
メールアドレス	TextBox	電子メール	

追加

↑

↓

削除

更新

保存

ドロップダウンオプションの設定(D)

OK キャンセル

選択されたデータ項目の順番を入れ替えます。

変更を確定する場合は [ 保存 ] を Click



既にデータが入力されているデータ項目は変更することができません。  
データ項目を追加した後に変更する場合などに使用します。

データ項目の設計時に**必須**項目にチェックすると、  
必須項目は検索結果の欄にも表示される項目となります。

ドロップダウンオプションの設定

新規追加 編集

オプション名 性別

選択項目

項目名

項目リスト

選択項目名

追加

削除

更新

保存

OK キャンセル

検索結果

ID	登録日	会社名	担当者
201305160002	2013/05/16	株式会社ジャパンファイル	鈴木花子
201305160001	2013/05/16	吉ノ善株式会社	山田一郎

データ項目として使用できる部品タイプは4種類あります。  
TextBox, Drop Down, Check Box, DatePicker です。  
Check Box を除くタイプには、それぞれにオプションが指定できます。  
**Drop Down** には、あらかじめ値を設定しておく必要があります。



#### 情報を構造化していく 4つの段階

- ①目的と対象の理解…「見わたす」
  - ②素材データの収集…「集める」
  - ③情報の分類・整理（組織化）…「並べる／分ける」
  - ④モデルの構築…「組み立てる」
- 丸善「情報デザインの教室」より



## オプション一覧表

7

# データ項目の仕様と調整とエクスポート

TextBox	
なし (汎用)	電子メール
〒7桁 (3桁-4桁)	URL (http://...)
ひらがな	数値 (数量)
全角カタカナ	数字 (先頭 0 可)
半角カタカナ	最大 8 文字に制限
半角英数	最大 16 文字に制限
半角英数記号	最大 32 文字に制限
TEL/FAX(xx-xx-xx)	最大 64 文字に制限
携帯電話	

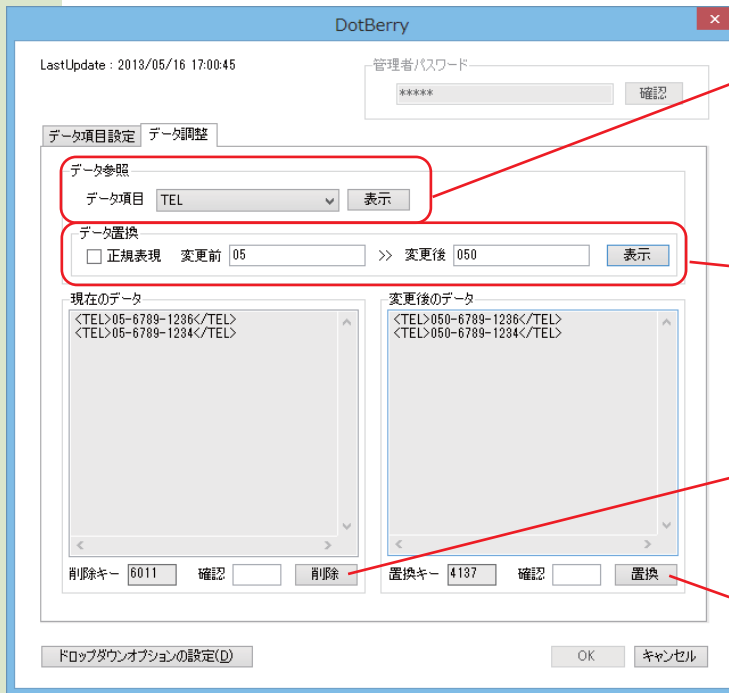
**DropDown**  
任意の選択項目を設定できます。

**CheckBox**  
オプションはありません。

DataPicker
yyyy/MM/dd
yyyy/M/d
YYYY年M月d日

M : 4月は4 となります。  
MM : 4月は04 となります。

## データ調整画面



データ調整はXMLデータを修正する機能です。  
ここからデータの調整したいデータ項目を選択し、  
[ 表示 ] を Click します。

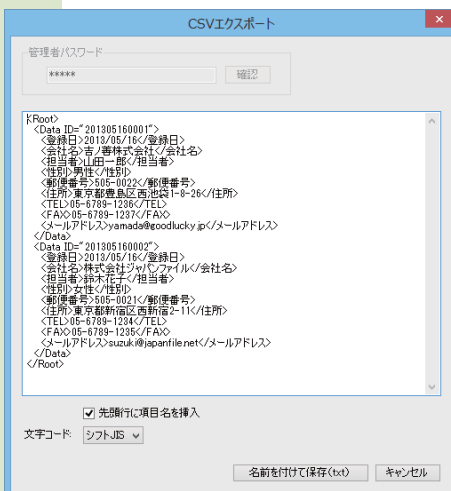
正規表現をチェックしてから [ 表示 ] すると、  
正規表現での置換を実行できます。

このツールはデータを置換するツールです。  
表示をクリックするとすぐ下のエリアに、  
現在のデータと変更後のデータが表示されます。  
実行前に変更前と変更後を確認できます。

削除キーを入力して [ 削除 ] を Click すると、  
選択されているデータ項目が削除されます。  
フォーム上にも連動して反映されます。

置換する場合は、置換キーを入力し、  
[ 置換 ] を Click します。

## CSV エクスポート



CSV エクスポート機能は、現在のデータ項目を CSV 形式で保存する機能です。  
文字コードは、シフト JIS、UTF8、EUC から選択できます。  
出力した CSV ファイルのデータは、他のシステムなどでご利用いただけます。  
※ 特に必要のない場合は、操作する必要はありません。



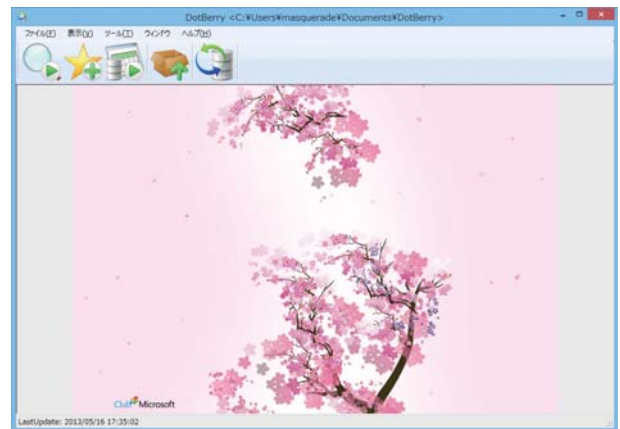




ツール (T) → マイオプション (O)

ワンポイント!

お好みの背景色や背景画像も設定できます。



#### ソフトウェア使用許諾書

本許諾書は、弊社のソフトウェア製品を安心してお使い頂くために、お客様に対して、今後提供させて頂くコンピュータ・プログラム、ドキュメント及び情報（以下、これらを総称して「ソフトウェア」といいます）をご使用できるようにする権利として、第三者への権利譲渡ができない非独占的使用権を許諾し、お客様も本許諾書に同意して頂くことを相互に約束するものであります。

第1条（許諾される使用権）本許諾書に基づき使用権が許諾されたソフトウェアは、その使用形態の如何を問わず使用することができます。

第2条（ソフトウェアの改変）本許諾書に基づくソフトウェアの改変は基本的にできません。これができる場合は、この変更・改作の必要性を事前に弊社が承認し、この承認に基づいた弊社の事前の書面による承諾を受けた場合のみです。しかしながら、この場合の改変の成果については、如何なるものも、その権利は弊社に帰属することとなります。（2）前項に従って改変したソフトウェアを第三者に譲渡したり、移転したり、又はその使用権を許諾したりすることも基本的にはできません。このような場合には、弊社に事前に書面による依頼を成し、この依頼に基づいて弊社が単独で決定することとなります。

第3条（ソフトウェアに関する権利）弊社はソフトウェアに関する特許権、著作権又はその他一切の工業所有権を所有するものとします。（2）本許諾書の第1条第3項に基づく複製によって得られたソフトウェアの所有権についても前項と同様とします。

第4条（保証と責任）弊社は本許諾書に基づくソフトウェアに関しては、如何なる保証も致しません。（2）弊社は、ソフトウェアに含まれている欠陥が原因で直接的又は間接的に発生する損害であって、特別な損害又は必然的な損害については、たとえ当該損害が発生する可能性がある一般的な告知されていた場合でも、如何なる損害に関しても何ら責任を負いません。

第5条（期間）本許諾書は、同意して頂いた日から、お客様が本許諾書のいずれかの条項に違反するか、ソフトウェアの使用権を破棄するまでは、書面で終了通知をなすことなく、本許諾書が自動的に終了する日まで有効なものとして存続します。

第6条（終了）本許諾書はソフトウェアの使用権を破棄することによって、終了することができます。

以上

アイドット合同会社

